

国立大学法人東海国立大学機構 (航空宇宙生産技術開発センター開所)

【概要】

国内初となる航空宇宙生産技術に関する科学的・体系的な教育・研究開発を行う拠点として、岐阜大学に設置されました。産学金官が連携し、将来の航空宇宙産業界に必要とされる人材の育成、研究開発を行います。2020年より、東海国立大学機構 航空宇宙航空宇宙研究教育拠点 の組織として、名古屋大学とともに活動しています。

航空宇宙産業の集積度が高い中部圏は、内閣府により国際戦略総合特区として指定され、今後も成長が期待されています。労働集約型工場が多い航空宇宙産業では、抜本的な生産性向上が求められていますが、そのために必要とされる生産技術は、関係する学問や技術分野が極めて広く、網羅的に教育・研究を行う機関が求められていました。

当センターでは、岐阜大学が持つ航空宇宙生産技術と、名古屋大学が持つ航空宇宙設計技術の互いの強みを生かし、必要とされている教育・研究、地域企業との連携を行うことで、魅力ある大学づくりと地域産業のさらなる発展を支えます。

令和3年4月19日(月)には、航空宇宙生産技術開発センター開所記念式典を執り行い、古田肇岐阜県知事、松尾清一東海国立大学機構長、森脇久隆岐阜大学長、その他岐阜県や企業の関係者等およそ45名が開所記念式典に出席し、本センターの本格運用開始を祝福しました。

式典では、関係者による挨拶の後、テープカットで開所を祝い、グループに分かれて施設内を見学する内覧会が行われました。また、式典終了後には、「空飛ぶクルマ」と題して、株式会社スカイドライブの最高技術責任者 岸信夫氏による講演が行われ、オンライン配信も含めおよそ400名の関係者や学生が聴講しました。



テープカット



内覧会

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/5	毎日	生産性向上 地方創生へ ～ 航空宇宙生産技術開発センター長 小牧博一さん ～
2021/4/20	岐阜	航空宇宙産業の国際競争力向上、人材育成 生産技術開発センター開所 産学金官連携、岐阜大内に
2021/4/20	中日	航空宇宙研究拠点 岐阜大構内に開所 生産技術開発センター
2021/4/20	読売	航空宇宙産業の新拠点 岐阜大敷地に 技術開発や人材育成
2021/4/20	毎日	航空宇宙開発の拠点に 岐阜大で生産技術センター本格稼働 工作ロボや運搬技術など開発
2021/4/20	日本経済	航空機部品の生産 効率化 岐阜大・名大が新研究拠点 AI管理や人材育成
2021/4/20	中部経済	岐阜大の宇宙産業拠点が本格稼働
2021/4/21	朝日	航空宇宙研究拠点 岐大の構内に開設 ～ 航空宇宙生産技術開発センター ～